

講義・演習概要（シラバス）

税務専門課程 第 12 期 税務・徴収コース（平成 26 年 8 月 19 日～10 月 1 日）

課 目 名	先進事例紹介
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	氏名 渡 辺 隆 <プロフィール> 昭和 5 6 年 3 月 大阪府立大学卒業 昭和 5 6 年 4 月 京都府庁入庁 平成 1 9 年 4 月 出納管理局入札課長 平成 2 2 年 5 月 総務部理事 平成 2 5 年 4 月 現職
ね ら い	地方分権が推進される中で、地方公共団体においては、貴重な自主財源である税収の確保が求められている。本講義では、各地方公共団体で取り組まれている効果的・効率的な取り組みの一事例として、京都地方税機構における税業務の共同化の事例を学び、今後の地方公共団体での検討の一助とすることにある。
講 義 概 要	平成 2 1 年 8 月に京都府と府内 2 5 市町村が税業務を共同化し、公平・公正な税業務の一層の推進や納税者の利便性の向上などを目的として設立された京都地方税機構について、設立にいたる経過や現在までの取り組みの状況について、説明する。
受講上の注意	
使 用 教 材	・ 講義レジメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

講義・演習概要（シラバス）【例】

税務専門課程 第12期 税務・徴収コース（平成26年8月19日～10月1日）

課 目 名	地方公務員制度
時 限 数	8 時限
担 当 講 師	自治大学校教授 ○○ ○○ ＜プロフィール＞ 平成○年○月～ ○○大学卒業 平成○年○月～ ○○省入省 平成○年○月～ ○○市役所○○課長 平成○年○月～ 自治大学校教授に就任
ね ら い	地方公共団体を取り巻く環境の変化に伴い、地方公務員制度のあり方に大きな関心が寄せられている。本講義では、分権時代を担う自治体職員にとって、自らの身分及び職務に関する根本基準を定めた地方公務員制度について、体系的に理解することをねらいとする。
講 義 概 要	基本法である地方公務員法を中心に、地方公務員に関連する各種法制度、労働関係法制、さらに国家公務員制度との関係について概観していく。過去の重要な判例や、公務員制度改革にかかる最近の動きにも触れながら、初心者にも分かりやすく解説する。 各回それぞれ2時限とし、講義内容の項目は以下のとおりである。 ■第1回：地方公務員制度の法体系、地方公務員の意義と分類、人事機関、職員に適用される基準の通則、任用 ■第2回：勤務条件、分限 ■第3回：懲戒、服務、人材育成と人事管理・定員管理、福祉及び利益の保護 ■第4回：職員の労働基本権、地方公務員行政関係訴訟、地方公務員の特例と他の法律の適用除外、地方公務員制度改革の動向
受講上の注意	・事前にeラーニングで該当項目を予習しておくことが望ましい。 ・また、講義への集中力を高めるため、指名をして発言を求めることがある。
使 用 教 材	・講義レジメ（その他、参考資料配付予定） ・地方公務員制度講義資料 ・坂弘二 著『地方公務員制度 第七次改定版』（学陽書房）
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし